



みんなで支え合いながら「福祉の町づくり」

令和6年度

事業計画

社会福祉協議会は「町民が寄り添い、支え合う町づくり」の実現を目指し、事業を力強く確実に実践いたします！

基本方針

急速な少子高齢化の進展、家族機能の低下、コロナ禍による人と人のつながりの希薄化が一層深刻化し、地域生活課題はさらに複雑・多様化しています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、様々な地域課題を解決する「地域共生社会」の実現に向けて、継続的に取り組んでいきます。

- 1 「できること」「求められること」をこれまでに培ってきた取り組みを活かし、確実に実行する
- 2 いつまでも「地域におけるつながり」を持つことの重要性を浸透させ、地域共生社会を実現させる
- 3 経済的に困窮する方の生活を守る活動を実行する
- 4 いきいきと安心して暮らせるよう、切れ目のない支援を実行する
- 5 危機管理能力をさらに向上させる



いちご狩り
(就労継続支援事業所たんぽぽ)



災害時における炊き出し訓練
(ボランティアセンター、ボランティア連絡協議会)

重点事項

- 1 誰もが安心して暮らせる地域福祉活動を実施する
- 2 新たな地域生活課題を各関係機関と密に連携し包括的な事業を進める
- 3 コロナ禍で停滞していた地域福祉活動計画の事業を実践するとともに、その分析・点検・評価等を踏まえ、次期計画の策定に取り組む
- 4 地域福祉活動を展開する意義やその情報を発信し、地域福祉の推進と本会への賛同者を増やす
- 5 高齢者のニーズにこたえ、地域で自立した生活を続けられるよう、協議体や行政と連携し、地域の特性を踏まえ、引き続き生活支援体制の整備をはかる
- 6 様々な災害に対応できる住民相互の地域コミュニティの形成や見守り活動、関係機関との連携、さらに安全な福祉避難所の運営の訓練、避難場所への移動支援の訓練等を実施し、防災力を強化する
- 7 町民が主体となって行う身近な地域での福祉活動に共同募金を有効活用し、地域づくりの活動の活性化と共同募金事業の理解と関心を深める
- 8 財政状況が不安定となった介護保険事業・障害福祉サービス事業の採算状況やサービス提供状況を常に把握し、効率的な運営を行い、将来を見据えた経営に努める
- 9 災害や感染症のまん延等の不測の事態が発生した際に、事業継続の方針・組織体制・手順等を「事業継続計画（BCP）」を活用し、業務を遂行する
- 10 非常に厳しい財政状況の中で、職員全体が自社協の経営状況を理解し、日々の業務に取り組み、常に各自が経営者であることを意識する

地域福祉事業

- 広報及びホームページによる福祉意識の高揚
- 「人と人とのふれあいの場」・「協働の場」の構築
- 災害救援活動・避難移動支援活動事業の実施
- 食料等配布事業
- 要支援者探索活動事業
- 在宅福祉移送サービス事業
- 長寿会活動の促進と充実
- ボランティア連絡協議会活動の促進と充実
- 生活福祉資金貸付事業
- 車椅子貸出事業
- 福祉車両貸出事業
- 群馬県ふくし総合相談支援事業
- 評議員会及び理事会の開催
- 評議員選任・解任委員会の開催
- 職員研修会の開催
- 共同募金事業
 - 事務局の運営
 - 赤い羽根募金運動の実施
 - 歳末たすけあい募金運動の実施